

『小物作り講座』

「自分でやる～」と、一年生の女の子。まだ針を持ったこともないだろうと、一針一針丁寧に教え、難しい所はスタッフがやっていた時の一言でした。

24日は、「フェルトの小物作り」で、雪だるまやクリスマスツリーをアップリケした、スマホが入るくらいの小さな手提げを作りました。

スタッフがマンツーマンで付かないと難しいだろうと、前の週から取り組んでいる子ども達もいました。アップリケをステッチで付けるのが難しい時は、ボンドでつけることを考えていたのですが、ステッチを教えてもらい、頑張っている子ども達もいました。

手提げの周囲の縫い合わせは、ブランケットステッチを教えました。勿論、玉結びも、玉止めもできない低学年の子ども達ですが、ブランケットステッチは、補助をすると途中から自分でできるようになりました。

「チクチク痛い。」針先で指を刺しながらも根気よく頑張って、可愛い手提げを仕上げることができました。私たちは、出来ないと思わず、「教え、見守り、支援」しながら、子ども達に色々な体験をさせる事が大切だと感じた「小物作り」でした。

おうちに持って帰って、どんなお話をしてくれましたか？



また、小学校で習った「ミサンガづくり」を高学年の児童が低学年の児童やお母さん達にも教えていました。